

長崎県シルバー人材センター連合会 令和5年度事業計画

第1 基本方針

わが国で感染が確認されて3年を経過した新型コロナウイルス感染症は、ここに来て感染症分類を5類に引き下げて一旦の区切りとし、社会経済活動の再生を図る新たな段階へと入ってきました。

一方で、国際情勢の変化や災害、気候変動などにより物流の仕組みは大きく揺らぎ、また急激な円相場の変動、賃上げを上回る物価上昇など、我が国の社会経済情勢は依然として不透明な状況に置かれています。

このような中、我々シルバー人材センターは、高齢者の方々に就業を通じた社会参加や生きがいを与え、そのくらしや幸福を守るという責務を果たすため、行政や関係機関と連携、協力を続けながら施策を継続していく必要があります。

国の予算については補助金が前年度比5億円減の141億円、委託事業である高齢者活躍人材確保育成事業（以下「育成事業」）において前年度比1億円増の13億円が計上されています。このほか、別途デジタル化関連予算として令和4年度補正予算に計上された27億円について残額が5年度に繰り越されています。

このことを受け、連合会における当初予算については、補助事業に関してはサポート事業費減の影響から厳しい見込となるほか、一方で育成事業に関しては対前年比15%程度の増となりましたが、併せて目標数値である新規会員数についても大幅増の197人という設定がなされたところです。いずれの事業においても最大の効果が上がるよう創意工夫し、また一層の合理化を図りながら公益法人として適正な業務遂行に努めてまいります。

会員数の拡大については、昨年度、全シ協において「第2次会員100万人達成計画」の一部見直しが行われましたが、今年度も引き続きその方針を継続するため、本県においては、今年度の会員数の目標値を6,151人といたします。また女性会員数の拡大については引き続き継続目標とし、育成事業を活用しながら新規会員開拓に努め、目標達成に向け努力してまいります。

事業の根幹である安全就業及び適正就業の徹底については、昨年度に策定した安全・適正就業対策基本計画を踏まえながら、5月に安全・適正就業対策推進委員会を開催し、計画的で効果的な安全・適正就業対策を推進していくとともに、各センターに対する研修会の開催や安全パトロールの実施などにより安全就労への意識を一層高め、適正就業においてはガイドラインの遵守を踏まえた指導、助言を進めてまいります。

一方、シルバー派遣事業においては、派遣元としての機能充実に努め、適正な経理事務の執行と労働関係諸法規に沿った事業運営に努め、収益の向上を目指してまいります。

令和5年10月からは、消費税のインボイス制度が施行されることとなりますが、各センターにおける請負代金の一部見直しや業務の効率化等による組織運営の安定化に向けた準備を支援するため、全国シルバー人材センター事業協会（全シ協）からの情報や他県の動向を迅速に提供するなどして、制度のスムーズな導入に努めます。

また、政府において、いわゆるフリーランスが安定的に働ける環境を整備するための新法案が国会に提出され、シルバー会員の今後の働き方にも影響を与えることから、この動きを注視し、同時に国が検討している契約方法の見直しについても情報収集を行い、各センターと共有するなど一定の対応を図ってまいります。

第2 事業計画

1 重点事業

I 【公益目的事業会計】

【1】 就業機会確保事業

(1) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業

派遣、請負、有料職業紹介等に係る業務を下記事業において推進し、高年齢者に、サービス業等の人手不足分野や、介護、育児等の現役世代を支える分野における就業機会を提供していきます。

- ①安全・適正就業対策推進事業
- ②普及啓発事業
- ③就業開拓・交流研修事業
- ④調査研究事業
- ⑤センター指導事業
- ⑥福祉・家事援助サービス事業
- ⑦有料職業紹介事業

【2】 シルバー派遣事業

【3】 高齢者活躍人材確保育成事業（受託事業）

2 実施計画

(1) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（以下「サポート事業」という。）

①安全・適正就業対策推進事業

安全・適正就業はサポート事業を推進していくうえでの根幹です。役職員・会員が一体となってその対策に取り組む必要があります。

各センターにおける安全指導體制の一層の強化とともに、就業中・途上の事故、特に重篤・入院事故の発生防止に取り組みます。

適正就業については、平成28年9月に厚生労働省・全国シルバー人材センター事業協会が示した「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」に基づき適正化を徹底してまいります。

| 事業項目 | 実施時期 | 実施地域 | 内容 |
|---------------------|-----------|--------|--|
| 1 安全・適正就業対策推進委員会の開催 | 5月 11月 | 長崎市 | 委員会：役員委員・センター事務局長等10名 会員の安全・適正就業の確保に関する事項の検討や対策等の推進 |
| 2 安全・適正就業強化月間の推進 | 7月 | 全センター | ・安全・適正就業強化月間において各センターに対し、安全・適正就業の指導 ・安全・適正就業の文書通知等 |
| 3 安全就業現地巡回指導 | 7月～10月 | 関係センター | ・委員による現地安全指導（概ね3年に1回） |
| 4 安全・適正就業対策役職員研修会 | 1月 | 長崎市 | ・各センターの安全・適正就業の推進 参加予定数：各拠点3名程度 |
| 5 事故発生状況の把握と情報の提供 | 毎月 | 全センター | ・センターにおける毎月の事故発生状況を把握し原因等を究明のうえ情報を提供して、事故発生の防止を推進 |

②普及啓発事業

シルバー事業について、マスコミへの情報提供、連合会ホームページの充実やSNSによる発信、事業概要、機関誌の発刊等を通して県民各層にシルバー事業の意義、理念、仕組等を正しく広く浸透するよう取り組み、サポート事業を始め各事業を推進します。

また、女性会員の確保に引き続き注力するとともに、高齢者活躍人材確保育成事業との連携を深めます。

| 事業項目 | 実施時期 | 実施地域 | 内 容 |
|-----------------------|------|-------|--|
| 1 普及啓発月間及び「シルバーの日」の推進 | 10月 | 全センター | ・普及啓発促進月間における各センターとの連携による各種行事の展開 |
| 2 広報活動 | 随時 | 全県域 | ① ホームページの充実、SNSによる情報発信の強化 ② 新聞や県広報誌・機関誌への掲載 ③ マスコミへの情報提供 |
| 3 事業概要の発行 | 9月 | 全県域 | 令和5年度事業概要(R4年度実績)の作成・配布 |
| 4 機関誌の発行 | 12月 | 全県域 | 「シルバーながさき」の作成・配布 |

③就業開拓・交流研修事業

連合会主催の会議等の開催及び全シ協、九シ協主催の会議・研修に出席することで職員のスキルアップを図り、会員の拡大及び就業開拓を始めとしたシルバー事業の拡大強化に繋げてまいります。

また、高齢者活躍人材確保育成事業と連携し企業に対する広報・説明会等を実施することにより、シルバーを活用する企業の増加を図ります。

| 事業項目 | 実施時期 | 実施地域 | 内 容 |
|-----------------|-----------------|------|---|
| 1 連合会主催の会議・研修会等 | | | |
| 業務推進事務局長会議 | 6月 10月 2月 | 長崎市 | 目的:適正な業務運営、会員の拡大、就業開拓、情報提供・共有、財政健全化等 参加予定数:各拠点1名 |
| 会計・経理担当者会議 | 随時 | 長崎市 | 目的:SC国庫補助事業の適正な執行等 参加予定数:各拠点2～3名程度 |

| 事業項目 | 実施時期 | 実施地域 | 内 容 |
|-----------------|-----------------|---------------------|-------------------------------------|
| 2 全シ協主催の会議・研修会等 | | | |
| 定時総会 | 6月 | 東京都 | 全シ協定時総会 |
| 会長会議 | 10(～11)月 | 未定 | 都道府県連合会長会議 |
| 事務局長会議 | 5月 10月 1月 | オンライン 未定 未定 | 第1回都道府県連合事務局長会議 第2回 同上 第3回 同上 |
| 会員拡大・就業開拓担当者会議 | 8月 | オンライン | 担当者会議 |
| 適正就業担当者会議 | 10月 | オンライン | 担当者会議 |
| シルバー事業情報交換会議 | 12月 | オンライン | 担当者会議 |
| 安全就業指導員会議 | 1月 | 東京都 オンライン (併) | 担当者会議 |
| 中堅職員研修 | 2月 | 東京都 | 中堅職員研修 |

| 事業項目 | 実施時期 | 実施地域 | 内 容 |
|-----------------|-----------------|--------------------|---------------|
| 3 九シ協主催の会議・研修会等 | | | |
| 理事会 | 6月 | 福岡県 | 理事会 |
| 定期総会・役職員研修会 | 7月 | 鹿児島県 | 定期総会・役職員研修会 |
| 会長会議 | 11月 | 福岡県 | 九州各県連合会長会議 |
| 事務局長会議 | 4月 8月 11月 | 福岡県 又は オンライン | 九州各県連合事務局長会議 |
| 職員研修会 | 11月 | 長崎県 | 連合及びセンター職員研修会 |
| 連合職員会議 | 未定 | 未定 | 連合職員会議 |

④調査研究事業

シルバー人材センターにおける会員数や就業延人員の動向及び職群別の受注状況などについて、業務統計の各種のデータを分析し、事業実績として取り纏め、各センターの今後の事業展開に資する調査研究を行います。

また、高齢者活躍人材確保育成事業と連携し、県内企業に対するアンケート調査を行い、シルバー事業に対するニーズ等を調査・分析し就業開拓に繋げます。

⑤センター指導事業

全シ協との連携のもと、各センターへの指導調査を実施し、シルバー事業の適正運営を推進します。また、センター未設置地域におけるセンターの設置促進等に対し、啓発、情報提供等を行い、高齢者がセンター事業に参画できる体制づくりを支援します。

| 事業項目 | 実施時期 | 実施箇所 | 内容 |
|-----------------|------|---------|--|
| 1 センター事業の指導助言 | 9月～ | 5センター | <ul style="list-style-type: none"> 各拠点の指導調査を実施し、事業運営を支援 <ul style="list-style-type: none"> ① 規程等整備、会計事務等の指導・助言 ② 会員・事業拡大への指導、助言 ③ 適正就業への指導・助言 |
| 2 シルバー事業の実施等の要請 | 随時 | 3地域(団体) | <ul style="list-style-type: none"> シルバー事業の実施、連合会加入、法人化のための情報提供と啓発支援 |

⑥福祉・家事援助サービス事業

高齢者の日常生活における不便さや、困りごとへの対応など育児世帯等に対する家事全般の支援拡大に努めます。

| 事業項目 | 実施時期 | 実施地域 | 内容 |
|--------------------------|------|-------|---|
| 1 福祉・家事援助・育児支援サービス事業啓発活動 | 通年 | 全センター | <ul style="list-style-type: none"> 福祉・家事援助・育児支援サービス事業の普及啓発と会員の意識の高揚を目的に、先進地の事例等の諸情報を収集して提供 |
| 2 福祉・家事援助サービス県内担当者会議 | 1月 | 長崎市 | <ul style="list-style-type: none"> 福祉・家事援助サービス事業の推進に向け、県内事例研究を収集し意見交換を実施 |

⑦有料職業紹介事業

高齢者の就業に適した職業紹介を実施します。

| 事業項目 | 実施時期 | 実施地域 | 内容 |
|---------------|------|------|--|
| 1 有料職業紹介事業の推進 | 通年 | 県内各地 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の就業に適した臨時的かつ短期的又は軽易な業務に限って、職業安定法の定めに従い有料職業紹介事業を推進 |
| 2 職業紹介責任者講習 | 10月 | 福岡県 | <ul style="list-style-type: none"> 職業紹介責任者講習 |

(2) シルバー派遣事業

就業機会の確保・拡大及び適正就業の徹底のもと、派遣事業の的確な推進を図ります。

| 事業項目 | 実施時期 | 実施地域 | 内容 |
|--------------------|------|--------------------|---|
| 1 シルバー派遣事業 | 通年 | ①連合会 ②従たる事務所の地域 | ・連合本部における会計事務（請求、賃金関係） ・事業の適正運営と体制の整備 ・派遣先事業所の開拓 ・新規会員獲得と会員の教育訓練 |
| 2 シルバー派遣事業運営委員会の開催 | 随時 | 長崎市 | ・委員：拠点及び連合会の事務局長 ・事業の適正運営に関する検討協議 |
| 3 広報と市場開拓 | 随時 | 全県域 | ・地域社会への効果的な広報活動と情報収集 ・派遣労働会員の確保と市場ニーズの調査 |
| 4 派遣担当者会議 | 9月 | 長崎市 | ・派遣事業の適正執行 ・情報共有と意見交換 |
| 5 派遣元責任者講習 | 11月 | 福岡県 | ・派遣元責任者講習 |

(3) 高齢者活躍人材確保育成事業

高齢者活用・現役世代雇用サポート事業で拡大していく分野の担い手を迅速かつ確実に確保するため、厚生労働省から「高齢者活躍人材確保育成事業」を受託し、連合会傘下の活動拠点の協力を得て、就業意欲が多様な高齢者に就業機会を提供することにより、地域企業の人手不足問題に寄与するシルバー人材センター（以下「シルバー」という。）を周知するとともに、シルバーにおける高齢者の一層の活躍を促進してまいります。

①広く高齢者・企業の関心を引き付けるためのシルバーに関する積極的な周知・広報を行います。

②高齢者の就業意欲や企業の高齢者の積極的活用を喚起・促進するためのシルバーでの就業体験を実施します。

③高齢者がシルバー会員になって自信を持って就業するための技能講習を実施します。

| 事業項目 | 実施時期 | 実施地域 | 内容 |
|---------|------|------|--|
| 1 周知・広報 | 通年 | 県内各地 | ・高齢者及び企業に対して、新聞、タウン情報誌及び自治体広報紙等の媒体によるシルバーに関する周知・広報の実施 ・高齢者や企業の関心を引くようなセミナーの実施 ・シルバーで活躍する女性会員を増やすため、女性に特化した周知・広報の実施 |

| 事業項目 | 実施時期 | 実施地域 | 内 容 |
|--------|------|------|--|
| 2 就業体験 | 通 年 | 県内各地 | ・シルバーでの就業に関心のある高齢者やシルバーの活用に関心のある企業を対象に、就業体験の実施 |
| 3 技能講習 | 通 年 | 県内各地 | ・シルバーでの就業を希望している高齢者が、シルバーの会員になって新たな分野で活躍することに興味や自信を持つことができるような技能講習の実施 ・職種転換を希望、若しくは就業を希望するシルバー会員に対する技能講習の実施 |

II 【法人会計】

理事会・総会等を通じ、適正・的確な法人運営に努めます。

| 事業項目 | 実施時期 | 実施地域 | 内 容 |
|--------------|------|------|---|
| 定期総会・理事会等の開催 | | | |
| 定時総会 | 6月 | 長崎市 | 連合会会員による総会開催 ・令和4年度事業報告・決算審議 |
| 理事会 | | | 連合会理事（14名）、監事（2名）による開催 |
| 第1回理事会 | 6月 | 長崎市 | ・令和4年度事業報告・決算審議 総会事案 |
| 第2回理事会 | 12月 | 〃 | ・事業運営等 |
| 第3回理事会 | 3月 | 〃 | ・令和6年度事業計画・予算審議 |
| 決算監査 | 5月 | 長崎市 | 監事（2名）による開催 ・令和4年度収支計算書等の監査 |
| 三役会議 | 随時 | 長崎市 | 会長、副会長（2名）、専務理事(事務局長)による開催 ・定時総会・理事会議案の協議等 |